



資源ごみの分別にご協力ください!

ごみの中には、再度そのまま使用できるものや原材料としてリサイクルできるものがあります。そのようなごみは「資源ごみ」として分別していただくようお願いします。

○資源ごみの種類

ペットボトル、缶、ビン、新聞、段ボール、雑誌、古着、飲用紙パック、プラスチックボトルなど

ペットボトル、缶、ビン、
プラスチックボトル
→収集当日の8時までに
各集積所へ

新聞、段ボール、雑誌など
の古紙類
→指定の回収場所へ

詳しくは市で発行している「ごみの分け方・出し方」をご覧ください。

今月も「リサイクル広場」を開催します!!
皆さんのお越しをお待ちしています。

▶日時 10月26日(日) 10時～12時 ※小雨決行
▶場所 安曇川公民館駐車場



新ごみ処理施設の施設デザイン(景観) その2

地域連携協定を締結している成安造形大学との連携協力によって、7月と8月に泰山寺区や泰山寺の事業者の方々と施設デザインについてのワークショップを開催しました。

「泰山寺区 新ごみ処理施設 未来の風景を考える市民ワークショップ」と題して、第1回目では、地域の方のさまざまな意見を伺い、第2回目では、「子どもたちに残したい泰山寺の風景」というテーマで、ワークショップを実施しました。

<皆さんからいただいた主なご意見>

- 施設の外周には調和した植樹や柵があると良い。
- 子どもたちが環境や地域のことを学ぶことができる場所の設置。
- 地場産業の製品を利用した交流スペースの整備。など

今後、皆さんからいただいたご意見を取りまとめ、施設のデザインや景観などに反映させていきます。

詳しくはこちら



ホームページ

可燃ごみ搬出量

現在、さん定処置として、三重県の民間ごみ処理業者へ委託して焼却処分しています。ごみの量に応じて処理費用を負担することになりますので、ごみの分別や減量にご協力ください。

測定月	収集量
令和5年8月分	1,092t
令和6年8月分	1,061t (前年比 31t 減)



新しい時代を生きる力の育成を目指して

小学校6年生と中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施され、その結果を分析したところ、次のような課題や学習状況が明らかとなりました。この分析結果を踏まえ、自ら考え、判断し、行動する力の育成を図ります。

学力調査で分かった課題

国語

必要な情報に着目して要約したり、自分の考えを分かりやすく伝えたりして、表現を工夫して文章で正しく書き表すこと。



算数・数学

数量の変化や数式が成り立つ理由を表、式、グラフなどのデータを読み取り、筋道を立てて証明したり、言葉や数を用いて説明したりすること。



学習状況調査で分かったこと

○地域や社会を良くするために何かしてみたいと思っている割合や、人の役に立つ人間になりたいと思っている割合が高い。



○学習の中でパソコンやタブレット端末を活用して学習することは、勉強で役に立っていると回答した割合が高い。



高島市誕生20年を振り返って

今年度、本市は市制施行から20年の大きな節目を迎えることとなりました。

これまでの20年間で、56,244人でありました人口は、令和6年8月末時点で、45,247人と1万人以上減少しています。人口減少問題は、全国共通の課題でありますが、市としても、子どもたちの医療費や保育料、学校給食費の無償化をはじめ、JR西日本と連携した移住定住促進施策など、さまざまな取り組みを行ってまいりました。そのことによって、段階的な人口減少は避けられないものの、近年は社会増減について、明らかな改善の兆しが見えてくるようになってまいりました。

また、頻発化、激甚化する自然災害や、世界中を不安と混乱に陥れた新型コロナウイルス感染症など、さまざまな課題に直面してまいりましたが、市民の

皆さまのご理解ご協力をいただきながら、これらの難局を乗り越えることができましたものと、心から感謝を申し上げます。

これまでの20年は、旧6町村がひとつのまちになって、歩んでいくための基礎を作るための期間でありましたが、これからは、新たな局面に向けて、さらなる発展を遂げていかなければならないものと考えております。

つきましては、市制施行の節目に際しまして、これまでの20年の歩みを振り返りながら、皆さまからの長年のご厚情に謝意を表すとともに、市政のさらなる発展に向けて新たな一歩を踏み出すべく、「高島市制20周年記念式典」を10月20日(日)に高島市民会館で挙行いたします。ぜひご家族、ご友人お誘いあわせの上、お越しいただければと思います。

福井 正明

市長雑記

